|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| スライド 1 |  | これから小学校プログラミング教育に関する〈ステップ３〉の校内研修を始めます。 |
| スライド 2 |  | ステップ３の研修のねらいは，「ワークショップでカリキュラムを考えてみよう」です。 |
| スライド 3 |  | 以上のような内容で進めていきます。  配布したワークシートにメモを取っても構いません。 |
| スライド 4 |  | ステップ２の研修で紹介しましたが，その後，算数以外の授業動画は視聴されましたか？  視聴した先生は手を挙げてください。  （いた場合：学年や教科，単元，学習活動内容等を聞き，感想を発表してもらう）  ありがとうございます。授業を実践した方はいますか？  （いた場合：学年や教科，単元，学習活動内容等を聞き，感想を発表してもらう）  【動画視聴・授業実践した方が少ない場合：授業動画を１本，視聴することを推奨します】  　例：模擬授業動画　４年・国語「『ことわざブック』を作ろう」  　　　実践授業動画　５年・外国語「Where is treasure?」 |
| スライド 5 |  | 今日は，先生方で協力しながら，どの授業にプログラミング教育が取り入れられそうか，授業のアイデアを出していきます。 |
| スライド 6 |  | まずは，持参していただいた教科書や副読本等を基に考えてみてください。 |
| スライド 7 |  | 授業のアイデアは，「各教科等の学習内容」から出していきましょう。 |
| スライド 8  9 |  | 例えば，「６年生・理科の『水溶液のはたらき』の単元で  （▼クリック）  水溶液の名前を当てる手順をまとめることができそう！」といったアイデアや |
| スライド 1011 |  | 「１年生・生活の『みんなでつうがくろをあるこう』の単元で  （▼クリック）  信号機の働きを考えられそう！」といったアイデア等のように考えていきましょう。 |
| スライド 12 |  | そして，出したアイデアをこのように付箋に書き出しましょう。 |
| スライド 13 |  | 書く内容は，「①教科名」「②単元名」「③学習活動」の３つです。 |
| スライド 14 |  | ２つ目の例であれば，このように書き出していきましょう。 |
| スライド 15 |  | 時間は15分です。相談しながらでも構いません。また，アイデアが出ないときは，先ほど配布したワークシートの裏面にある「プログラミング教育スタートパック」の学習活動例を参考にしてください。では，始めましょう。  （７～８分後）  一端，止めてください。  ◎（アイデアが順調に出ている場合）  　　いろいろなアイデアが出てきましたね。素晴らしいです！学年や資質・能力，教科等のバランスも考えながらアイデアを出してみましょう。では，続けてください。  ●（アイデアが出ていない場合）  　例：（個人またはグループで）教科を絞ってアイデアを考えてみましょう。  　例：これまでに視聴した授業動画等でやってみたい内容等を書き出してみましょう。  　例：インターネットで調べながらアイデアを考えてみましょう。 |
| スライド 16 |  | （15分後）  次に，アイデアを共有します。 |
| スライド 17 |  | こちらのアイデア分類表に貼っていきます。観点になるのは， |
| スライド 1819 |  | 横軸が「学年」で，  （▼クリック）  縦軸が，「資質・能力」です。ステップ１の研修で確認した７つの項目をまとめて，Aが「知識及び技能」で「気付き」，Bが「思考力・判断力・表現力等」で「プログラミング的思考」，Cが「学びに向かう力，人間性等」で「生かそうとする態度」といった３つで分類します。 |
| スライド 20 |  | 先ほどの例であれば，１つ目の理科は，分岐の考えを取り入れるので，６学年で「B」の「プログラミング的思考」に当てはまり， |
| スライド 21 |  | 生活については，身近なところでコンピュータが活用されていることに気付かせたいので，１学年で「A」の「気付き」が当てはまります。 |
| スライド 22 |  | 資質・能力が明確でなくても構いません。他の先生方と相談しながら貼ってください。 |
| スライド 23 |  | 一人ずつ付箋に書いたものを発表しながら貼っていってください。それでは始めてください。 |
| スライド 24 |  | （１人ずつの発表終了後，または状況に応じて）  次に，アイデアをまとめていきます。また，同じ教科，学年で似ているものが出ているときは，アイデアを共有しながらまとめましょう。学年や資質・能力のバランス等を確認し，足りないところは新たなアイデアについて話し合い，付け加えましょう。時間は○○分（25～30分）です。それでは始めてください。 |
| スライド 25 |  | （まとめ終了後）  時間です。そこまでにしてください。それでは各グループで考えたアイデアを発表してもらいます。これは是非実践したいと考えた，学年・教科名・単元名・学習活動を発表してください。  （順番に発表してもらう） |
| スライド 26 |  | 振り返りに移ります。 |
| スライド 27 |  | ワークショップで協力してプログラミング教育を取り入れた授業のカリキュラムについて考えましたが，いかがでしたか？  （数名の先生に感想を発表してもらう）  先生方が今話し合ったことを参考にして，各学年，資質・能力，共にバランスよくプログラミング教育に取り組めるよう，カリキュラムを作成していきたいと思います。  （アンケートをお願いする。回収は後からでもよい） |
| スライド 28 |  | 今後は，３回の研修で学んだことを生かして実際に授業で実践していきましょう。実践に当たってもう1度，プログラミング教育のねらいを確認します。 |
| スライド 29303132 |  | 「プログラミング的思考」を育むこと，  （▼クリック）  プログラムの働きのよさへの「気付き」やコンピュータ等を活用して問題を解決したり，よりよい社会を築いたりしようとする「態度」を育むこと，  （▼クリック）  各教科等での学びをより確実なものとすること，の３つでした。  （▼クリック）  ねらいの実現に向けて，まずは先生方が実際にプログラミングをやってみて，楽しむことが大切です。そして，普段の授業へ少しずつでよいので取り入れていきましょう。 |
| スライド 33 |  | これまでの研修の内容を確認したい場合は，「プログラミング教育校内研修ナビ」のＷｅｂサイトから，資料がご覧になれますので，ご活用ください。 |
| スライド 34 |  | 以上で「小学校プログラミング教育　校内研修」は終了です。お疲れ様でした。 |